

# 公益財団法人 J F E 21 世紀財団 2023 年度 技術研究助成 募集要項

## 1. 助成対象となる研究

**鉄鋼技術研究**：鉄鋼材料、製造プロセス、鉄鋼副産物を対象とする基礎／応用研究。計測・制御・分析・計算科学・数値解析等で鉄鋼を対象とする関連技術や生産技術の研究を含む。

**地球環境・地球温暖化防止技術研究**：地球環境保全と地球温暖化防止を目的とした技術開発を対象とするエンジニアリング（工学）に関係する基礎、応用技術の研究。

- \*【別紙】の「研究分野分類表」のいずれかの分類に該当した研究テーマを受付ける。
- \*実質的に既に完了している研究や、特定の機関からの委託研究は対象外とする。
- \*助成を受けた研究は成果も含めて公開を前提とする。（本財団にて助成研究報告書を発行し、財団ホームページ(HP)で公開）また、研究成果がもたらす工業所有権等の知的財産権については、本財団は関与しない。

## 2. 助成件数と助成金額

28 件（原則） （200 万円/件）	鉄鋼技術研究	概ね 14 件
	地球環境・地球温暖化防止技術研究	概ね 14 件

- \*助成金は代表研究者の所属する大学・研究機関に交付（指定銀行口座に 2023 年 12 月に振込）
- \*助成金の用途は、設備・備品費、学会・調査旅費、研究補助者謝金、参考書籍・文書購入費等で、研究室運営費、学会等開催費、論文印刷・書籍刊行費などは不可とする。

## 3. 研究期間

原則 1 年間（2024 年 1 月研究開始・同年 12 月終了・2025 年 1 月報告書提出）  
但し、1 年間に上限として延長を可とする。（その場合 2026 年 1 月報告書提出）

## 4. 応募資格

日本の国公立大学または公的研究機関に勤務（常勤）する研究者であって国籍は問わない。なおグループでの研究の場合、代表研究者以外の共同研究者は 3 名以内で、大学院生および外国の大学、日本の他の大学や公的研究機関に所属する研究者も可とする。2020～2022 年度の本研究助成を代表研究者として受領した者は、今回は代表研究者としての応募はできない。

## 5. 申請の手続き

本財団 HP の申請様式に記入し、HP 内の申請画面から送信する。

財団 HP：<http://www.jfe-21st-cf.or.jp/> 受付開始：4 月 17 日（月） 締切：6 月 26 日（月）

## 6. 審査・選考と助成研究(者)の公表

本財団委嘱の審査委員会による審査・選考を経て、財団理事長が決定し、9 月末頃に応募者に結果を通知の後、財団 HP 等で公表する。

## 7. 受領決定後の約束事

- (1) 助成受領者は、本財団と「技術研究助成覚書」を締結
- (2) 助成受領者は、本財団所定の寄付申請書の作成を大学・研究機関事務部に依頼
- (3) 贈呈式への代表研究者の出席（東京で 12 月 6 日（水）開催予定、出席費用は本財団負担）
- (4) 研究終了後、研究成果報告書（公開前提）と会計報告書を提出
- (5) 研究論文等において本財団から助成があった旨を記載すること

以上

【別紙】

技術研究助成の対象とする「研究分野分類表」

\*ホームページ応募申込画面の「研究分類」欄には、下記の研究分類コードより最も近いもの1つを選択し、入力する。

\*応募申請書の「研究分類(主)」欄には上記と同じコードを入力する。

(複数の研究分類コードに該当する場合のみ、2番目に近いものを「研究分類(従)」にも入れる)

(区分)	(大分類)	研究分類コード	(小分類)
鉄鋼	鉄鋼製造プロセス	鉄プー1	製鉄分野の製造プロセス・生産技術
		鉄プー2	製鋼分野の製造プロセス・生産技術
		鉄プー3	鉄鋼副産物の処理プロセス・処理技術、再資源化、再利用
		鉄プー4	塑性加工、圧延分野の製造プロセス・生産技術
	鉄鋼材料	鉄材ー1	組織(相、粒界、析出、拡散)
		鉄材ー2	材料設計(複合・焼結材料・ナノ)、合金
		鉄材ー3	強度、疲労・破壊、材料評価
		鉄材ー4	腐食・防食、電気化学、表面処理、コーティング
	鉄鋼関連技術	鉄関ー1	計測・制御技術、計算科学、数値解析
		鉄関ー2	分析技術、評価・試験、検査
		鉄関ー3	溶接・接合、潤滑・トライボロジ
		鉄関ー4	鋼構造(設計、試験、工法)、構造解析、土木・建築
地球環境・地球温暖化防止	地球環境保全	環境ー1	水資源、飲料水、河川湖沼・海浜、水処理
		環境ー2	廃棄物処理、再資源化、リサイクル、金属回収
		環境ー3	土壌浄化、環境汚染物質(大気)回収、土壌・大気等無害化の分析・計測、放射性廃棄物処理
	地球温暖化防止	温暖ー1	CO <sub>2</sub> 等温室効果ガス回収・固定、ヒートアイランド
		温暖ー2	省エネ、排熱利用、燃焼(燃料)、熱機関、空調、ヒートポンプ
		温暖ー3	燃料電池、蓄電池、水素製造
		温暖ー4	再生可能エネルギー(太陽光、風力、地熱、バイオマス)、スマートグリッド、エネルギーフロー